

2月生涯研抄録

歯内療法成功の鍵

特に抜髄を成功させるために

木ノ本 喜史(吹田市開業)

歯内療法において、抜髄根管と感染根管の成功率には差があり、感染根管においては成功率が明らかに低下することが知られています。感染根管の多くはほとんど抜髄根管であったはずであり、根管が感染すると治療が難しくなることがこの差から読み取れ、さらに日常臨床では感染根管に比べて処置回数が少ないと感じられる抜髄が実は感染根管の始まりになっているとも言えます。したがって、根管に器具を初めて入れて抜髄を行う術者の責任は非常に重大です。しかし逆に考えれば、抜髄を長期にわたって成功させれば感染根管の数もいつかは減少すると期待されます。そこで今回は、抜髄を成功

させるために必要な臨床根管解剖と歯内療法の本となる感染の話を中心に、抜髄の理論と手技について解説致します。歯の解剖は歯科医師なら誰でも学生時代に学ぶ科目ですが、対象を歯内療法に絞って解説した解剖に関するまとめは案外見かけません。歯学部学生の歯内療法の講義においても、根管解剖についての説明はほとんど行われていないため、根管に対しては漠然としたイメージを持っていただいている方が多いのではないかと考えられます。しかし、多様な形態を示す根管のバリエーションを知らずに確実な歯内療法を行うことは不可能です。根管のイメージを確かなものにするこことによって、直接目で

三島地区「経営展望」で講習会

経営状態分析し目標設定

協会の三島地区は講習会「経営スタイル選択とトラブル対策」を12月15日、高槻市立生涯学習センターで開いた。講師の佐飛淳一税理士(協会税理士団)は、「歯科医院の経営展望」をテキストにして、経営を考える上でのポイントを解説した。歯科医師ら14人が参加した。佐飛氏は、①患者が歯科医院を選ぶ時代が変わってきたこと②格差社会のもとで、患者になりたくてもなれない人がたくさんいること③全歯科医の4分の1が収入1、2千万円台—といった状況をあげ、このような新しい時代にあった歯科医院の経営を考える必要があると指摘した。そのためにも、経

北大阪地区 改定情報を解説

歯周治療に「SPT」

北大阪地区は講習会「次期診療報酬改定の動向とオンライン化」を12月22日、吹田市市民会館で開いた。次期診療報酬をめぐり、改定率が本体部分0.38%プラスと決まった中で、いま出てきている内容を小澤力政策部長ならびに吉田裕志社保研究部長が解説した。

れくらの資産が必要になるか、ライフスタイルをつかみ目標を決める必要があると強調した。「歯科医院に展望はあるのか」については、健康を求める国民の思いや保険治療を拡大・充実させていく制度改善運動が展望に繋がるとして、協会の活動にぜひとも力を貸してほしいと訴えた。また、「経営」とはも

指導・監査では、経済財政諮問会議の資料、現状の3倍化となる年8千件の個別指導が提示されており、社会保険庁改革でますます個別指導を強化していく傾向があり、東京では自殺事件まで起きている。次期診療報酬の動向では、新しい歯周病のガイド



リレーエッセイ 229

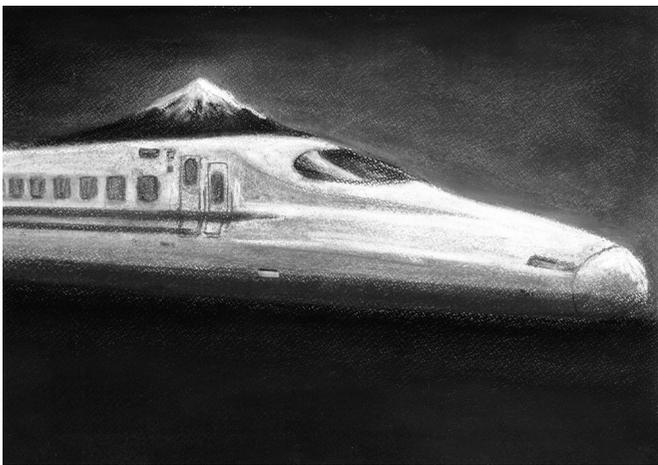
平成19年11月3日、新大阪発の「のぞみ100号」に乗っている。この車両は次世代新幹線といわれ、平成19年7月1日より営業運転を行っているN700系である。この話題の列車に乗るチャンスは7月にもあったのだが、台風のために連休となりの涙をのんだのであった。最高時速270km/hの乗り心地は良々、東京まで最短2時間25分



で連れてくれる。また嬉しいことにグリーン車の全席、普通車の窓側にコンセントがついており携帯電話やパソコン、携帯ゲーム機好きの私にはとても重宝する。さすが、電車だけに電気には困らないみたいだ。さて、新幹線といえは1964年に夢の超特急「ひかり」として誕生した。当初は確か新大阪ー東京間を4時間近くかか

新幹線への思い

生駒勇人 (阿倍野区)



絵 藤田 進氏 (河内長野市)

っていたと思う。私の初めての新幹線の思いは

5歳頃だろうか。父の社員旅行で熱海温泉へ行っ

た時のものである。今ではもうなくなってしまう

その後、学生時代に新幹線に乗ったのは高校の修学旅行の時だけであった。大学に入り車の免許を取ってからは、電車自体にもほとんど乗らなくなった。卒業後に結婚し、子どもも大きくなっ

た平成17年に愛知万博へ行くのに久しぶりに新幹線に乗った。子どもたちはすごく楽しみにしていたので、大興奮だった。今はなかなか乗ることがないけれど、マナーを教えたり、路線図を見たりと子どもたちにとっては良い学習の場となる。車だけではなく、たまには電車も良いものだと思っ

生駒勇人先生ありがとうございました。次回2月15日付は生駒先生のご推薦で小谷尚久先生(東住吉区)にバトンタッチされます。どうぞご期待ください。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564

1月度生涯研抄録 「食医のススメ 日常臨床に役立つ摂食・嚥下障害の診断と治療」

三島地区総会・記念講演 「次期診療報酬の動向と問題点」

新規開業医講習会

「スケーリングシャープニングセミナー」

北河内地区セミナー 「診療報酬改定と個別指導の最新情報」

2月度生涯研抄録 「歯内療法成功の鍵ー特に抜髄を成功させるためにー」

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です。協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣意をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。 ※M&Dホールとは、歯科同協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名です。